

令和3年4月20日
気象庁大気海洋部

配信資料に関するお知らせ

～ 降水短時間予報（速報版含む）の誤差の取り扱い手法の改善について ～
（配信資料に関する仕様 No.11701 関連）

降水短時間予報・速報版降水短時間予報データのうち、まれに予報時間6時間目において、計算過程で微小な誤差が積み重なることで負の値をもった降水量が算出されていたことがわかりました。この場合、気象庁ホームページにおいては、レーダーの観測範囲内であるにもかかわらず、観測範囲外の凡例をもった格子点が表示されていました（別紙）。この度、誤差の取扱い手法を改善することでこれを解消できることが確認できたため、下記の日時で計算手法の変更を実施します。

なお、フォーマット等に変更はないため、これまでと同様にご利用いただけます。また、降水15時間予報に関する変更はありません。

記

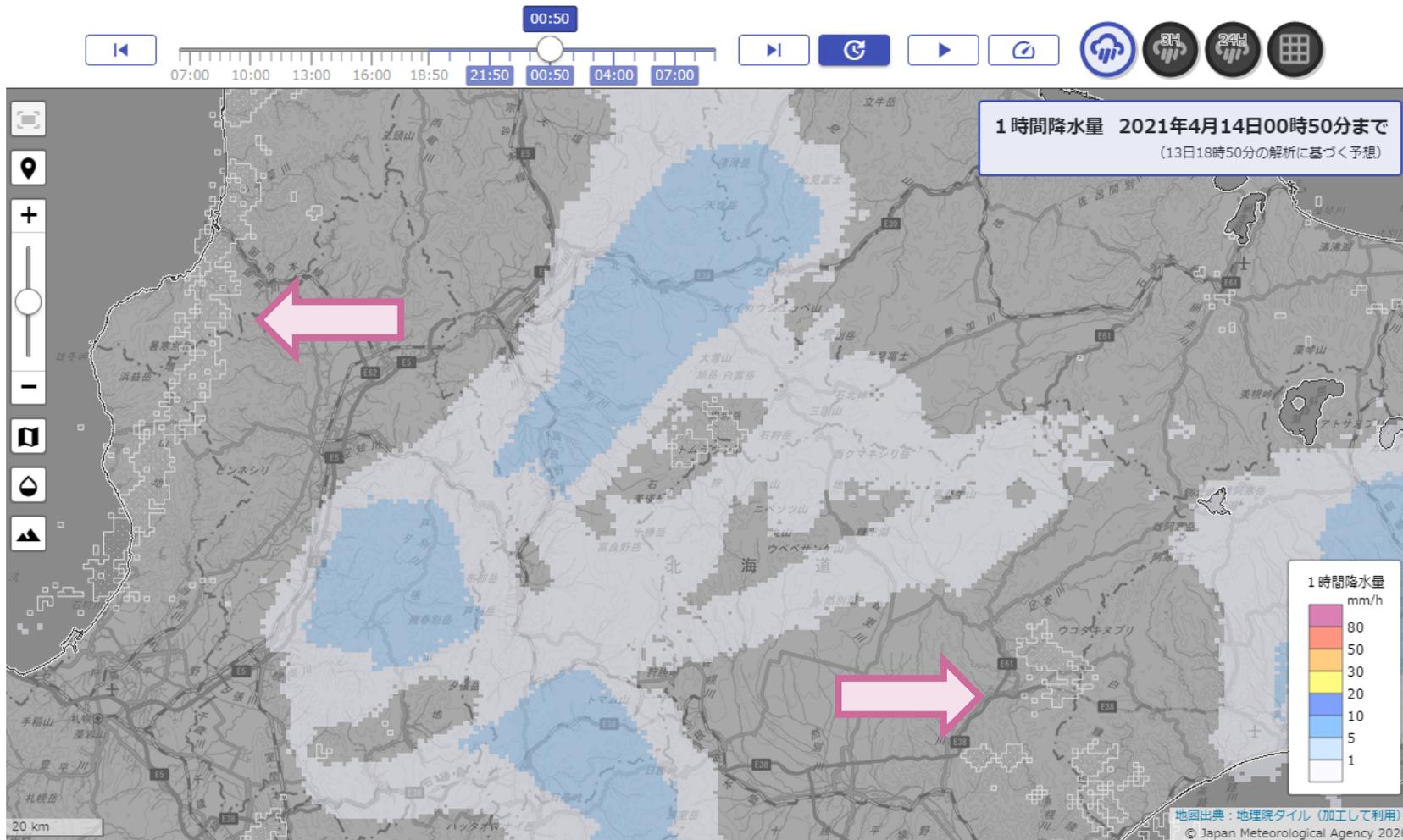
実施日時

令和3年4月20日（火） 日本時間 15時00分

改善内容等

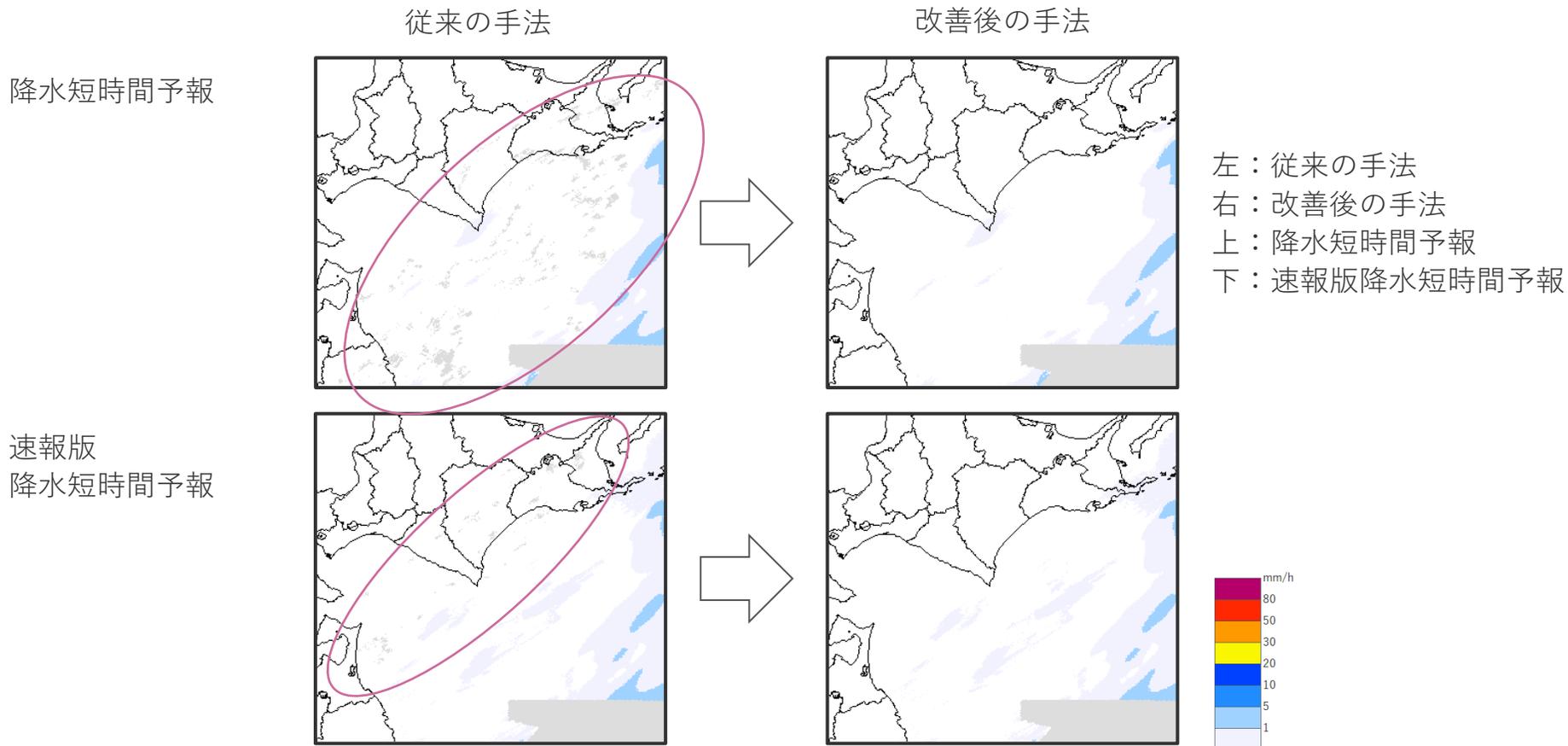
別紙のとおり

今回の事例



矢印の部分にゼロより小さい範囲外の値が広がり、領域外と同じハッチがかかっている

下図に示すように、従来の手法（左）だと赤の楕円で囲まれた部分に範囲外の値が見られるが、改善後の手法（右）では表示されなくなることが確認できた



2021年4月14日 09時30分(JST) 予報時間6時間目